



2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月14日

上場会社名 株式会社丸八ホールディングス 上場取引所 名
 コード番号 3504 URL <http://www.maruhachi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧口 陽夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループ長 (氏名) 工藤 知足 (TEL) 045-471-0808
 定時株主総会開催予定日 2019年6月27日 配当支払開始予定日 2019年6月13日
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	14,858	△16.3	985	△38.1	1,293	△22.1	814	△26.2
2018年3月期	17,751	△11.9	1,591	1.0	1,660	△18.6	1,103	△4.9
(注) 包括利益	2019年3月期		91百万円(△92.5%)		2018年3月期		1,219百万円(31.4%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	52.58	—	1.8	2.2	6.6
2018年3月期	71.21	—	2.4	2.9	9.0
(参考) 持分法投資損益	2019年3月期	—百万円	2018年3月期	—百万円	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	59,210	45,469	76.8	2,933.97
2018年3月期	58,762	45,842	78.0	2,958.06
(参考) 自己資本	2019年3月期	45,469百万円	2018年3月期	45,842百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	957	△2,679	534	13,839
2018年3月期	1,695	△1,293	534	15,088

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	464	42.1	1.0
2019年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	464	57.1	1.0
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00		77.4	

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,720	△9.8	206	△65.3	489	△45.6	301	△47.0	19.46
通 期	13,444	△9.5	497	△49.5	974	△24.7	600	△26.3	38.75

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 ー 社（社名）
、除外 ー 社（社名） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期	16,579,060株	2018年3月期	16,579,060株
② 期末自己株式数	2019年3月期	1,081,540株	2018年3月期	1,081,540株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	15,497,520株	2018年3月期	15,497,520株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、内閣府の月例経済報告によりますと、「景気は、緩やかに回復している。」とされており、先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、米中をはじめとする通商問題が世界経済に与える影響や、中国経済の先行きなど、海外経済の動向と政策に関する不確実性や、金融資本市場の変動の影響については、留意する必要があります。

(寝具・リビング用品事業)

当社グループが属する寝具業界は、寝具新聞社が発行する寝具新聞記事によりますと、「2018年の寝具市場規模は本紙推定によると7年連続で1兆円の台を確保し、1兆1,326億円であった。寝具は人間が生活する上で必需品であり、一定の買い替えサイクルがあると同時に、睡眠への関心の高揚、さらには相次ぐ高機能を付加した新商品開発によって新規需要がもたらされている。」とされています。

こうした状況の中、当社グループの当連結会計年度の状況といたしましては、前連結会計年度と比べ減収・減益となりました。その主な要因は、第一に、G L BOWRON & CO LIMITEDを2017年8月23日に株式譲渡したことによるものです。第二に、主力のダイレクトセールス部門において、販売員の増員を課題として認識しておりますが、継続的な採用活動に努めるも奏功せず、減員となったためであります。

ダイレクトセールス以外の国内卸売、レンタル、ホテル・旅館向け販売においては、概ね計画どおりの業績で推移いたしました。

(不動産賃貸事業)

当連結会計年度の状況といたしましては、前連結会計年度と比べ増収・増益となりました。主要物件である西新宿パークウェストビル・丸八青山ビル・丸八新横浜ビルが都心部の良好な不動産市況を背景に堅調に推移したことに加え、前期下期に完成した筑後マンションの賃貸収入もあり、増収につながりました。さらに経費面では、設備関係費が前期を下回ったことにより増益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は14,858,991千円と前期と比べ2,892,723千円(16.3%)の減収となりました。営業利益は985,297千円と前期と比べ606,542千円(38.1%)の減益となりました。経常利益は1,293,328千円と前期と比べ366,780千円(22.1%)の減益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は814,827千円と前期と比べ288,803千円(26.2%)の減益となりました。

セグメント毎の状況は以下のとおりであります。

① 寝具・リビング用品事業

当セグメントにおきましては、売上高は13,902,183千円と前期と比べ2,921,711千円(17.4%)の減収、セグメント利益(営業利益)は1,081,792千円と前期と比べ818,784千円(43.1%)の減益となりました。

② 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は956,807千円と前期と比べ28,987千円(3.1%)の増収、セグメント利益(営業利益)は509,781千円と前期と比べ176,425千円(52.9%)の増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末と比較して448,436千円増加し、59,210,804千円となりました。これは主に、現金及び預金が1,203,623千円減少、有価証券が894,436千円減少した一方で、投資有価証券が2,045,659千円増加、決算日前のスポットの仕入等によりたな卸資産が471,903千円増加したことによるものであります。

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末と比較して821,790千円増加し、13,741,549千円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が1,500,000千円減少した一方で、長期借入金が2,500,000千円増加したことによるものであります。

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末と比較して373,354千円減少し、45,469,254千円となりました。これは主に、期末配当を上回る親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が349,902千円増加した一方で、海外子会社の換算レートの変動により為替換算調整勘定が661,445千円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は、前連結会計年度に比べ1,249,034千円減少し、13,839,325千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローと要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は957,446千円（前連結会計年度は1,695,186千円の獲得）となりました。

この主な要因は、税金等調整前当期純利益1,232,107千円、減価償却費443,621千円、利息及び配当金の受取額346,681千円などがあった一方で、たな卸資産の増加472,634千円、法人税等の支払額553,429千円などがあったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は2,679,762千円（前連結会計年度は1,293,219千円の使用）となりました。

この主な要因は、投資有価証券の売却及び償還による収入887,910千円などがあった一方で、投資有価証券の取得による支出2,160,439千円、定期預金の純増額822,828千円、有形固定資産の取得による支出791,401千円などがあったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は534,248千円（前連結会計年度は534,248千円の獲得）となりました。

この主な要因は、長期借入れによる収入2,500,000千円があった一方で、長期借入金の返済による支出1,500,000千円、配当金の支払額464,925千円などがあったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

寝具市場規模は引き続き概ね安定して推移すると見込まれます。当社グループ主力のダイレクトセールスにおきましては、一般にも労働者不足の問題が依然として存在し、販売員の増員が困難な状況であります。今後も継続的な採用活動に努めてまいります。減収減益の見込みであります。

ダイレクトセールス以外の販売形態においては、レンタルは増収、国内卸売、ホテル・旅館向け販売は概ね横這いの見込みであります。

以上から、次期（2020年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高13,444,314千円（前期比9.5%減）、営業利益497,993千円（前期比49.5%減）を見込んでおります。営業外損益におきましては、為替差損益は発生しないものと想定し、経常利益974,192千円（前期比24.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益600,490千円（前期比26.3%減）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準に基づいて連結財務諸表を作成しております。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,103,974	26,900,350
受取手形及び売掛金	7,720,467	7,529,198
有価証券	894,436	—
たな卸資産	2,220,010	2,691,913
その他	371,292	566,108
貸倒引当金	△64,360	△69,694
流動資産合計	39,245,821	37,617,877
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,075,098	18,885,342
減価償却累計額	△14,426,491	△14,386,484
建物及び構築物（純額）	4,648,606	4,498,858
機械装置及び運搬具	3,402,333	2,746,597
減価償却累計額	△3,183,629	△2,522,319
機械装置及び運搬具（純額）	218,703	224,278
工具、器具及び備品	782,117	734,141
減価償却累計額	△564,564	△517,831
工具、器具及び備品（純額）	217,552	216,310
土地	13,237,065	13,115,282
建設仮勘定	130,309	515,408
有形固定資産合計	18,452,237	18,570,139
無形固定資産	34,782	26,274
投資その他の資産		
投資有価証券	504,284	2,549,943
繰延税金資産	214,577	181,107
その他	349,840	294,790
貸倒引当金	△39,176	△29,328
投資その他の資産合計	1,029,526	2,996,513
固定資産合計	19,516,546	21,592,927
資産合計	58,762,368	59,210,804

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	464,290	721,605
1年内返済予定の長期借入金	1,500,000	—
未払金	751,420	691,178
未払法人税等	264,426	167,299
賞与引当金	231,711	208,877
返品調整引当金	82,052	68,601
割賦利益繰延	1,461,171	1,407,579
その他	910,429	748,997
流動負債合計	5,665,502	4,014,138
固定負債		
長期借入金	5,500,000	8,000,000
役員退職慰労引当金	23,982	23,982
退職給付に係る負債	413,109	401,509
長期預り保証金	1,089,688	1,086,165
繰延税金負債	58,786	47,832
その他	168,690	167,921
固定負債合計	7,254,256	9,727,411
負債合計	12,919,758	13,741,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,427,998	1,427,998
利益剰余金	46,929,830	47,279,732
自己株式	△2,216,142	△2,216,142
株主資本合計	46,241,687	46,591,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,490	△296
繰延ヘッジ損益	△933	42
為替換算調整勘定	△460,635	△1,122,080
その他の包括利益累計額合計	△399,078	△1,122,335
非支配株主持分	0	0
純資産合計	45,842,609	45,469,254
負債純資産合計	58,762,368	59,210,804

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	17,751,714	14,858,991
売上原価	6,567,974	5,406,784
売上総利益	11,183,739	9,452,206
販売費及び一般管理費	9,591,899	8,466,908
営業利益	1,591,840	985,297
営業外収益		
受取利息	320,368	351,327
受取配当金	10,765	35,567
受取手数料	99,401	93,176
その他	60,842	73,767
営業外収益合計	491,378	553,839
営業外費用		
支払利息	20,298	14,913
為替差損	400,515	219,967
その他	2,295	10,927
営業外費用合計	423,109	245,808
経常利益	1,660,109	1,293,328
特別利益		
有形固定資産売却益	250,690	59,295
ゴルフ会員権売却益	—	5,666
特別利益合計	250,690	64,962
特別損失		
子会社株式売却損	154,740	—
減損損失	45,804	94,821
有形固定資産除却損	33,367	24,731
ゴルフ会員権売却損	—	3,330
ゴルフ会員権評価損	—	3,300
特別退職金	35,017	—
特別損失合計	268,930	126,183
税金等調整前当期純利益	1,641,869	1,232,107
法人税、住民税及び事業税	525,077	361,089
法人税等調整額	13,161	56,190
法人税等合計	538,238	417,280
当期純利益	1,103,631	814,827
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	1,103,630	814,827

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月 31日)
当期純利益	1,103,631	814,827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,191	△62,786
繰延ヘッジ損益	△2,792	975
為替換算調整勘定	91,932	△661,445
その他の包括利益合計	116,330	△723,256
包括利益	1,219,962	91,571
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,219,962	91,571
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	1,427,998	46,291,125	△2,216,142	45,602,982
当期変動額					
剰余金の配当			△464,925		△464,925
親会社株主に帰属する当期純利益			1,103,630		1,103,630
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	638,705	—	638,705
当期末残高	100,000	1,427,998	46,929,830	△2,216,142	46,241,687

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	35,299	1,859	△552,568	△515,409	0	45,087,572
当期変動額						
剰余金の配当						△464,925
親会社株主に帰属する当期純利益						1,103,630
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	27,191	△2,792	91,932	116,331	—	116,331
当期変動額合計	27,191	△2,792	91,932	116,331	—	755,036
当期末残高	62,490	△933	△460,635	△399,078	0	45,842,609

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	1,427,998	46,929,830	△2,216,142	46,241,687
当期変動額					
剰余金の配当			△464,925		△464,925
親会社株主に帰属する当期純利益			814,827		814,827
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	349,902	—	349,902
当期末残高	100,000	1,427,998	47,279,732	△2,216,142	46,591,589

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	62,490	△933	△460,635	△399,078	0	45,842,609
当期変動額						
剰余金の配当						△464,925
親会社株主に帰属する当期純利益						814,827
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△62,786	975	△661,445	△723,256	—	△723,256
当期変動額合計	△62,786	975	△661,445	△723,256	—	△373,354
当期末残高	△296	42	△1,122,080	△1,122,335	0	45,469,254

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,641,869	1,232,107
減価償却費	465,852	443,621
減損損失	45,804	94,821
有形固定資産除却損	33,367	24,731
有形固定資産売却損益 (△は益)	△250,690	△59,295
子会社株式売却損益 (△は益)	154,740	—
特別退職金	35,017	—
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	—	△2,336
ゴルフ会員権評価損	—	3,300
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,347	△4,322
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,320	△22,833
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,325	△11,599
割賦利益繰延の増減額 (△は減少)	60,883	△53,592
受取利息及び受取配当金	△331,134	△386,895
支払利息	20,298	14,913
為替差損益 (△は益)	390,224	233,167
売上債権の増減額 (△は増加)	△108,393	190,965
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△386,434	△472,634
仕入債務の増減額 (△は減少)	△176,434	259,131
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△22,097	△92,825
その他	344,311	△211,317
小計	1,929,483	1,179,108
利息及び配当金の受取額	318,787	346,681
利息の支払額	△20,298	△14,913
法人税等の支払額	△532,786	△553,429
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,695,186	957,446

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△2,588,607	△822,828
有形固定資産の取得による支出	△1,119,463	△791,401
有形固定資産の売却による収入	374,020	174,127
無形固定資産の取得による支出	△4,385	△1,116
無形固定資産の売却による収入	—	216
投資有価証券の取得による支出	—	△2,160,439
投資有価証券の売却及び償還による収入	595,515	887,910
子会社株式の売却による収入	1,440,492	—
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△2,320	8,610
長期貸付金の回収による収入	7,629	7,514
その他	3,899	17,645
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,293,219	△2,679,762
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,000,000	2,500,000
長期借入金の返済による支出	△2,000,000	△1,500,000
配当金の支払額	△464,925	△464,925
その他	△825	△825
財務活動によるキャッシュ・フロー	534,248	534,248
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,949	△60,966
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	929,266	△1,249,034
現金及び現金同等物の期首残高	14,159,093	15,088,359
現金及び現金同等物の期末残高	15,088,359	13,839,325

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品及びサービス別に事業戦略を立案し、事業活動を展開していることから、報告セグメントは「寝具・リビング用品事業」及び「不動産賃貸事業」としております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「寝具・リビング用品事業」は、羽毛ふとん、敷きふとんをはじめとする寝具・リビング用品の製造、販売、レンタル等を行っております。

「不動産賃貸事業」は、主に企業向けテナントビル等の不動産の賃貸を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠しております。

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であり、セグメント間の取引高は原則として第三者間取引価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	寝具・リビング 用品事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	16,823,894	927,819	17,751,714	—	17,751,714
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	252,540	252,540	△252,540	—
計	16,823,894	1,180,360	18,004,255	△252,540	17,751,714
セグメント利益	1,900,577	333,355	2,233,932	△642,092	1,591,840
セグメント資産	33,890,013	17,760,360	51,650,373	7,115,929	58,766,302
その他の項目					
減価償却費	205,008	250,131	455,139	10,712	465,852
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	350,608	780,353	1,130,961	1,057	1,132,018

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△252,540千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△642,092千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

(3) セグメント資産の調整額7,115,929千円は、各報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	寝具・リビング 用品事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	13,902,183	956,807	14,858,991	—	14,858,991
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	245,160	245,160	△245,160	—
計	13,902,183	1,201,967	15,104,151	△245,160	14,858,991
セグメント利益	1,081,792	509,781	1,591,573	△606,275	985,297
セグメント資産	34,684,713	17,874,722	52,559,435	6,651,368	59,210,804
その他の項目					
減価償却費	169,811	265,443	435,255	8,365	443,621
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	331,102	471,821	802,923	1,551	804,475

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) 売上高の調整額△245,160千円は、セグメント間取引消去であります。
 - (2) セグメント利益の調整額△606,275千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。
 - (3) セグメント資産の調整額6,651,368千円は、各報告セグメントに帰属しない全社資産であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	2,958.06円	2,933.97円
1株当たり当期純利益	71.21円	52.58円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,103,630	814,827
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,103,630	814,827
普通株式の期中平均株式数(株)	15,497,520	15,497,520

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2018年3月31日)	当連結会計年度末 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	45,842,609	45,469,254
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	0	0
(うち非支配株主持分)(千円)	(0)	(0)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	45,842,608	45,469,254
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	15,497,520	15,497,520

(重要な後発事象)

該当事項はありません。